

1 教育目標

「光り、輝く、チーム南陽小」（1600万℃ある内部からの光、輝き）  
 合言葉  
 考えよう、語り合おう<自分で・みんなで・楽しみながら・最後まで>  
 <問題は何か・どうすればいいか・結果はどうか・次はどうか>

2 学校経営方針

- 「しっとり落ち着いた学校」・・・5つの基本欲求が満たされた状態：ウェルビーイング（生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求）
- 「子ども・保護者・教職員・地域が互いのことを大切にする（互いの欲求を満たし合う）学校」大切にすることは・・・命と心、希望（未来）を守ること

3 重点目標

- 確かな学力の向上
- 健やかな心と体を育成
- 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計			分析及び改善策
			肯定的割合 (%)			
			生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	97	97	100	教育目標や校風については昨年度より改善されている。全体的に高い評価結果であった。さらなる改善に向けて手立てを講じていきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	98	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			90	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	93	86	95	全般的に高い評価結果となった。「悩みや相談に親身に対応」に関しては、三者とも高い評価であるが、引き続き、一人一人の児童に寄り添いながら、よりよい成長を目指して指導を徹底していきたい。あはは運動の保護者への啓発と平和の思いの発信は意識しながら取り組んでいく。
		挨拶をよくしている	94	78	90	
		「あ・は・は運動」を知っている（小学校のみ）	92	69	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94	90	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	94	86	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	91	75	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99	76	75	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	96	93	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	94	96	95	「家庭学習の習慣」は、保護者の評価が低くなっている。宿題は取り組んでも学習を自主的に行うことが少ないのではないかと推察される。習慣化をめざして粘り強く取り組んでいきたい。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	98	91	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	88	71	60	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	87	82	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		97	93	95		

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	96	100	早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身についていない児童が見られる点は、課題である。基本的な生活習慣の定着は健康な体づくりに必要であるため家庭の協力をお願いしていく。
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	85	80	90	
		体力向上に努めている	79	90	85	
食育	食に関する教育活動を行っている	90	87	85		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	94	96	100	全体的に満足度が高い。保護者、地域が積極的に学校とかかわりをもってくださっている。子供の地域行事への参加を促していきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	95	98	100	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	77	96	100	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	90	98	85	施設や設備の老朽化が進む中、優先順位を考慮しながら対応していく。また、今後も整理整頓や清掃等にも力を入れ、環境を整えていく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			95	
			92	98	100	

## 5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

昨年度より保護者の満足度の数値が向上し、肯定的評価が90%以上の項目が多数あり全体的に満足できる結果となった。特に、「学校経営」「健やかな体」「信頼される学校」領域においては、児童や保護者の意識も高まってきている。今後も継続した取組を行っていききたい。

「家庭学習の習慣」については昨年度より満足度を減らしている。家庭学習の充実が学力向上に直結する。校内研究を中心にしっかりと対策を練り、改善していきたい。「キャリア教育」「あはは運動」等の取組に関しても学年・学級便り、学級懇談会等を活用し、情報を発信しながら家庭と連携して取り組んでいきたい。

地域と保護者との連携が密接になってきていることを実感している。今後も、より一層、学校、地域、家庭が連携して児童の教育に携わっていく体制を整えていきたい。

## 6 学校関係者評価

今回の学校評価に対して、妥当であるという評価を受けた。

挨拶に関しては、「自分たちには校内や地域では元気よく挨拶をしている。」と評価をいただいた。ただ、声掛け事案や不審者等の情報があり、相手を見分けて挨拶しないことがある。そのため保護者の方の数値の低さの原因ではないかとの考えをいただいた。

また、地域の中で保護者同士、住人同士のかかわりが少なくなっている現状がある。挨拶や子どもの地域行事への参加が少ない原因の一端であるとの話をいただいた。

## 7 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

- 提案された取組を職員全体でしっかりと共通理解したうえで、「できることをできる形」で取り組んでいく。
- 挨拶の励行はこれまでどおり指導を続けていく。
- 保護者や地域の方々と手を取り合っ、ご理解・ご協力を得ながら、本校の子供全員が安心でき落ち着いて学習や生活できる学校を目指していく。